



あいさつをする
石原実行委員長

▼キックオフセレモニーでは、この企画を発案した同団体副
実行委員長のMarcoさん（右端）率いるパフォーマンス集
団「球舞」が巧みなボールさばきで会場を盛り上げました。



①72時間に
わたった試合は
325対302で緑チー
ムが勝利。

②280人ものボランティ
アがイベントの運営を
支えたほか、町内外
の事業者が飲食
ブースを出店。

72時間耐久サッカー世界記録に挑戦！ SUN 川根スタンドアップ！プロジェクト



11月23日から26日にかけて、「同一のサッカーの試合に出場した選手の数」の世界記録に挑むイベントが、町営徳山グラウンド（旧中川根第一小学校グラウンド）にて開催されました。このイベントは、町や島田市川根町（三川根）の住民などの有志で構成する「SUN川根スタンドアップ！プロジェクト」（実行委員長：石原一則さん（崎平区））が、住民自身が主役・一丸となって挑戦する機会をつくることで、人口減少が進む地域を盛り上げようと企画しました。現在の世界記録は、南米チリで達成された2357人。この記録を超えるため、町内だけでなく全国各地から2371人も参加者が集まりました。

23日、正午の時報とともに世界記録への挑戦が始まると、参加者は「同じ人は2回出場できない」というルールの下、原則として30分間ごとに交代しながら、昼夜にわたり途切れることなく試合を続けました。開催期間中、企画の趣旨に賛同した藤枝MYFCの選手や人気音楽ユニット「スキマスイッチ」の常田真太郎さんなどの著名人も参加し、一般参加者と交流しながらボールをつなぎました。

26日正午、試合終了の笛が鳴ると、参加者や挑戦を見守った来場者は喜びを分かち合いました。試合終了後、石原実行委員長は「小さな子どもからお年寄りまでさまざまな世代の方が集まり、『自分たちにもできるんだ！』という自信につながった」という感想も聞かれ、皆さんの心に響くイベントにすることができた」と喜びを口にしました。

今後同団体では、今回のイベントの映像や資料を世界記録認定団体に提出し、正式な世界記録認定を目指します。